

『中央分団手入れ要項』

2013年改正
中央分団副分団長 戸村哲也

- ① 月1回の手入れは消防団員としての責務です。万全な状態を年間通し維持して下さい。
真空テスト～放水を行い、定期点検の一貫として下記の項目などをチェックして下さい。
- ・ 消防自動車の燃料チェック
 - ・ 防護服および装備品（手袋・防護マスク）などのチェック
 - ・ 無線機やライトなどの乾電池残量の確認
 - ・ 発電機の点検および備蓄燃料の確認
 - ・ 消防ホースの修理（メンテナンス）
 - ・ 防火水槽の破損チェックおよび消火栓の点検
（尚、中央分団では11月・12月の合同手入れを防火水槽&消火栓の一斉点検月間としています。）

※ 新入団員や現場経験未熟者への基礎的な災害訓練なども、同時に各部にて指導をお願い致します。

- ② 中央分団合同手入れについて ※副分団長①・②とは 基本①を小泉、②は戸村が担当します。

「中継訓練」（西光寺駐車場を借用。但し、地面が砂地なので雨天の場合は中止とします。）

副分団長②の指示の元、実際の火事場を想定した中継訓練を行います。

- ・ 新部長の無線交信の練習（中央分団アナログ無線 分団共通波）
- ・ 新入団員など火災現場未経験者のための災害現場想定訓練（筒先の放水圧体験や機関員体験を行う）

「中継訓練撤収後の集合の合図」

副分団長①は各部長に「集合」をかける。

1 部部長は副分団長①の前5m地点にて「基準」と発し、右手を挙げる。（1部より横隊に整列）

副分団長①は横隊の中央に移動し「右へならえ・なおれ・整列休め」の号令をかける。

副分団長①は最右翼へ着き次第、「点検報告」と発する。

「点検者（副分団長②）への号令」

副分団長①は点検者（副分団長②）が所定の位置に着く前に「気をつけ」

所定の位置に着き次第「頭～中、直れ」の号令をかける。副分団長①は敬礼

「点検報告」

点検者（副分団長②）は各部長に対し「点検報告！」と号令をかける。

1 部部長は点検者に対し敬礼（敬礼の要領：部長△→点検▲→点検▼→部長▽）を行い、報告を行う。

例）「1部！ 部長以下〇〇名 機械器具点検 異常なし！」 点検者「よし！」

報告後は敬礼 ※1部部長と次の2部部長は同時に点検者に対し敬礼を行います。

以下同様に「〇部 部長以下〇〇名 機械器具点検 異常なし！」と続けます。

副分団長①は点検報告が終わり次第「頭～中、直れ」の号令をかける。副分団長①は敬礼

副分団長①は点検者（副分団長②）が退却したら「整列～休め」の号令をかける。

「分団長からの連絡報告」

副分団長①は分団長が中央の位置に着き次第「頭～中、直れ」の号令をかける。副分団長②は敬礼

分団長「手で休ませて下さいの合図」副分団長①は「整列休め」の号令をかける。

分団長は連絡事項が終わり次第、全団員へ「…以上です。気をつけ・別れ！」の号令をかける。

「別れ！」ですので、全員で敬礼して解散とします。

- ※ 「合同手入れ中止の場合」

天候により合同手入れ（中継訓練）が中止になる場合は事前に連絡をします。

合同手入れ（中継訓練）が中止でも、必要に応じて役員（部長）のみの集合もあります。